

高齢者や障がい者への 生活・就労支援概論

－ 医工福祉連携による展開 －

高齢社会への対応や共生社会構築が求められる中、
生活支援や就労支援は、現代の学生が習得すべき教養です。

この科目を履修すると・・・

- ・文系・理系に偏らない内容の講義が、一科目で受講できます。
- ・医工連携はじめ佐賀で進められている特色あるプログラムについて知ることができます。
- ・生活支援から就労支援の基礎を総合的に理解できます。

関連分野

高齢者医療・看護・介護、医療ソーシャルワーク、
ロボット工学、医用画像処理、転倒防止、運動習慣形成、
先進医療、がん患者QOL、認知症ケア、人工関節、
システム制御、リハビリテーション工学、テクノエイド、
コミュニケーションエイド、障害者スポーツ ほか

【担当教員】

堀川 悦夫（佐賀大学医学部） ほか佐賀大学各学部の教員

【出願期間】

平成21年9月1日（火）～10月9日（金）

【出願窓口】

医学、工学、そして福祉
最新の内容を一科目で概括

高齢者や障がい者への生活・就労支援概論

－ 医工福祉連携による展開 －

科目説明

この科目は、高齢の方や障がいを有する方の自立生活を実現するための総合的・学際的な支援の理論と実践法の理解を目的とし、従来の領域のみならず、医学、工学的アプローチを取り入れた医文理融合科目である。

高齢者や障がい者を支援するには、衣食住など日常生活を支える側面と、就労や地域における活動など社会的・経済的生活を支える側面の双方が必要となる。

それらの支援の理念や実践でのアプローチを理解することは、高齢の方や障がいを有する方の生活の質の向上と共に、共生社会における認識をより適切な方向へ変化させることができる。

このような知識や技術の習得は、卒業後の展開が期待され、例として、医師・看護師、教員、社会福祉／介護職、福祉関連の各種事業経営、さらに理系各領域のエンジニア、その応用としての福祉機器開発などがあげられる。

科目詳細

開講大学：佐賀大学

単位数：2単位

曜日・校時：水曜1時限

授業形式：対面授業／同期型遠隔授業

開講期間：H21年10月2日～H22年2月19日

オムニバス方式の講義であり各担当者が1～3回程度講義を行う。

授業計画

主 な 内 容 （改良のため変更される場合があります）

1. 生活支援そして就労支援とは
2. 加齢に伴う心身の変化と支援の概要
3. 障がいに関する考え方や対処法の概要
4. 社会的諸制度とソーシャルワークからのアプローチ
5. リハビリテーション工学からのアプローチ
6. コミュニケーション支援からのアプローチ
7. ロボット工学からのアプローチ
8. システム制御からのアプローチ
9. 医療からのアプローチ
10. 心理学的アプローチ
11. まとめ



お問い合わせはコチラまで

ほりかわ えつ お
堀川 悦夫

〒849-8501 佐賀市鍋島5-1-1

佐賀大学医学部 地域医療科学教育研究センター

認知神経心理学分野 ブレイン&モビリティ・リサーチ・ラボラトリー

E-mail ethori@med.saga-u.ac.jp 0952-34-2141